

安心できない状況の中、各自自制し、各部健闘しています

校長 大平 哲夫

久しぶりに行動制限や規制がほぼかからなかったゴールデンウィークも終わり、校内では中間考査(2年生は直前ですね！)、修学旅行及び1・2年生の校外学習に向けての取組が大詰めを迎える時期となっています。ゴールデンウィーク中は校内での新型コロナの感染報告が続き、登校時の検温をはじめとする感染予防対策の再強化と大会を控えた部以外の部活動の自粛と、本校では、今年の1月末を思い出してしまいそうな、不安な状況がありました。

『修学旅行や校外学習に行けない子を出さないように！』との私も含めた先生たちの思いもあり、本来なら練習試合等に思い切り活用できたはずのゴールデンウィークも部活の規制をかけました。

しかし、そんな厳しい状況の中でも、乙訓春季大会等、この春に開催された諸大会で本校の各部活動の活躍がめざましかったのです…嬉しいことです。コロナ禍で思うように練習や活動ができない中でも、上位に進出したり、強豪校に競ったゲームができる部が増えてきていると感じました。これまで、我慢しながらもできることを調整しながら実践してきて、長い時間を無目的にダラダラ練習することもなくなったでしょうし、限られた時間内に必要なことの優先順位を判断し、決めながら活動してきたことが、ひょっとすると皆さんにとっては効率的で効果的な活動になっていたのかもしれないね？

スポーツ指導でもよく、『腹八分目…もうちょっとやりたい、とか、もっとやりたい』と選手が次の練習への期待ややる気をもって、その日の練習を終えられるように…ということが言われます。コロナ禍の制限から生じた練習や取組方の改善(?)がかえって皆さんには体の負担も軽減され、『早くやりたい』というやる気や意欲を駆り立てられ、限られた条件の中での活動に集中したりのめり込める部分につながっているのかもしれないね？夏の大会に向けて、これからもできる範囲内でうまく自分に合った練習をして、自己やチームを高めていきましょう！

保護者の皆様並びに地域の皆様、日頃は本校教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。校内では、まだまだ安定しないコロナの状況があります。ご家族の体調不良時や検査受検時の登校自粛や自身の体調不良時の病院受診等を引き続きお願い致します。

世間ではマスク不要論が出てきています。もちろん熱中症予防のために気温が高くなるこれからの時期、苦しくなる前にマスクを外すことやこまめな給水が大切です。一方で、今回のように校内で急に感染者が増えた状態では、やはりマスクなしで活動することに不安感が残ります。気温等の環境状況に応じたマスクの脱着については、体育や部活動時等に、教科担当や顧問より指導はしてきておりますが、今後も引き続き、校内の状況に応じて生徒たちには適切に声をかけていかせていただきます。